

平成 30 年 7 月 5 日
家畜改良センター本所

中央畜産技術研修会 『放牧』研修に係る実習を実施しました

高張力線牧柵や簡易電気牧柵の設置実習に汗を流す

(独)家畜改良センター(以下「センター」という。)では、農林水産省が開催する中央畜産技術研修会を運営していますが、7月3日から5日にかけて「放牧」研修を実施しました。

「放牧」研修では、研究機関、関係団体等から講師を迎え、放牧管理技術や放牧牛の衛生管理、放牧草地の更新に係る技術等について講義(座学)が行われるとともに、最終日には実際に放牧を行う上で不可欠な高張力線牧柵や簡易電気牧柵の設置実習が行われます。

今回は、あいにくの梅雨空の中(蒸し暑い中)での実習となりましたが、センター本所内の実習ほ場において、放牧資材等を取り扱う民間企業の方及びセンター職員を講師として、民間農場、市町村公社、都道府県等から参加した12名の研修生が2種の牧柵設置の実習を行いました。

研修生は、初めての牧柵設置体験に悪戦苦闘、汗を流しながらも、講師から作業が進む都度、説明や助言を受けながら、設置に係る手順、技術等を身につけていました。



(上：牧柵の柱に絶縁体(碍子)を取り付ける練習)

(右：高張力線を用いた牧柵が設置されたところ)



全国的に、畜産振興や耕作放棄地の有効活用等の観点から放牧への期待が高まる中、本研修により、基礎となる知識や技術の普及が図られればと考えています。